

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長
溝畑 正信 (東大阪東RC)

●新補助金制度(未来の夢)

【最新資料】

「グローバルアウトLOOK」・・・ロータリアンのための新しい財団補助金入門です。

http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/global_outlook_1211_ja.pdf

ロータリーの友11月号をご覧ください。

【グローバル補助金ウェビナー報告】

11月13日(火)にインターネットを通じて開催されたウェビナーに、第2580地区と第2760地区よりプロジェクト事例の発表がありました。ウェブサイトの下記リンクより録画記録を視聴できます。

<http://www.rotary.org/ja/Members/Training/Webinars/Pages/Archives.aspx>

【新補助金制度-奨学金】(2013年7月より)

地区補助金、グローバル補助金のいずれを利用する場合も、承認前に発生した経費の支払いには使えません。

2013-14年度の場合、2013年7月より前に開始している学生の学費として奨学金を支給することはできませんが、すでに就学中の方に対し、これから購入する学用品やテキスト代として補助金を授与することはできます。また、地区補助金の場合、申請時の使用計画には支援する学生の名前を含める必要はなく、例えば、地元の高校生3名のための奨学金などのように申請し、後から募集・選考することも可能です。

グローバル補助金の場合には、遅くとも出発の90日前までに申請書を提出します。

経費および領収書

領収書は奨学生からの受取ではなく、業者や教育機関が発行したものがが必要です。領収書の日付が承認前の場合、その補助金の支出としては認められませんので、学費納入や航空券購入のタイミングにご注意下さい。補助金の支出については、すべての領収書を報告書に添付して地区に提出しますが、奨学金における生活費などは、少なくとも75ドル以上の領収書を報告書に添付し、食費などの日々の細かな支出については本人が記載した明細でも認められます。なお、受領者が航空券を補助金予算に含める場合は、国際ロータリー・トラベル・サービス(RITS)を通じて購入します。

地区補助金の資金管理

地区補助金資金は単年度で支出を完了し、プロジェクトは24カ月以内に完了します。クラブのプロジェクト口座への送金やプロジェクトの支払いを除いて、補助金資金を他の口座へ移動することは認められていないため、複数年度の就学や留学のための奨学金支援を行う場合には、複数年度分の奨学金をすべて単年度で支出する必要があります。4年間留学する方が、3年目の学費のために再度地区補助金に応募することも可能ですが、その場合も授業年度開始前に承認を得る必要がありますので、募集・選考の時期に注意が必要です。

【ポリオ症例数】

2012年11月28日現在のポリオ症例数です。

	2012年 1月1日～11月28日	2011年 1月1日～12月31日
アフガニスタン	31	80
パキスタン	56	198
ナイジェリア	110	62
インド	-	1
ポリオ常在国以外	5	309
世界合計	202	650

*現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

【2012年の寄付】

2012年7月～12月の個人寄付の確定申告書用領収証は1月下旬ごろにクラブ宛に送付されます。

【100%ポール・ハリス・フェロークラブ】

先日、各地区には2011-12年度クラブ認証(100%財団の友クラブ、EREYクラブ、年次基金1人当たり上位3クラブ)のバナーが届いています。この3つの認証のほかにクラブの認証として100%ポール・ハリス・フェロークラブという認証があります。この認証を受けるためには正会員が全員ポール・ハリス・フェローになっていることが条件です。申請は年度に関係なく随時、日本事務局で受け付けられています。現在、日本では165のクラブがこの認証を受けています。一度きりの認証です。クラブの目標としてみてはいかがでしょうか。